

平成 30 年度丘珠空港利活用検討関係者会議における助言

＜丘珠空港の利活用の在り方・空港の利活用策に関する助言＞

- 現在の運用の中で空港の利用価値を高めることと、大規模な整備を伴う空港の将来像に関することは切り離して検討することが必要である。前者については、短期的に実施可能な利活用策は民間と連携しつつ積極的に実施することを、後者については、将来的な技術革新も見据えより深く検討することを、同時並行的に取り組んでほしい。
- 利活用の議論は、地域への環境面、安全面の配慮が前提条件であることを念頭に進めて頂きたい。
- 道内 7 空港の運営の民間委託が 2020 年から始まることなどを踏まえ、効果的な利活用のタイミングを逸しないよう検討を進めることを期待する。
- 丘珠空港の利活用に対する大きな制約となっている滑走路長の延伸について、この会議ではその必要性について共通認識があったところであり、市には市民の意見を踏まえてその方向付けをして頂きたい。
- 都市型の空港であることから、地域のまちづくりも含めた空港の将来像を描いていくことが期待される。
- 現在利用していない人達も利用するような丘珠空港の機能を考えていくことが重要である。

＜札幌市が行う丘珠空港の利活用検討に係る

情報提供及び意見収集に関する助言＞

- 騒音に関する説明は一般市民には分かりづらいところがあるので、例えば身近な騒音との比較など分かり易く説明することや、騒音を受ける地域住民へ配慮することに心を砕いて頂きたい。
- 多くの人に関心を持って頂き、広い範囲で意見を収集するよう努めて頂きたい。